

## 図7 食物アレルギーのタイプ

臨床型		頻度の多い 発症年齢	頻度の高い 食物	アナフィラ キシーの 危険	耐性獲得
新生児・乳児消化管アレルギー		新生児期	牛乳	有り	多い
食物アレルギーの関与する 乳児アトピー性皮膚炎		乳児期	鶏卵、牛乳、 小麦、大豆など	有り	多い
即時型		乳幼児期	年齢によって 異なる	高い	鶏卵、牛乳、小麦、 大豆などは多く、 それ以外は少ない
特殊 型	食物依存性運動誘発 アナフィラキシー (FEIAn/FDEIA)	学童期～ 成人期	小麦、甲殻類 など	高い	少ない
	口腔アレルギー症候群 (OAS)	学童期～ 成人期	果物、野菜 など	低い	少ない